

令和4年3月

# 安全研会報

全国学校安全教育研究会 会報 NO.11

発行 全国学校安全教育研究会

東京都学校安全教育研究会 会報 NO.46

会長 木間 東平



## 「第45回研究大会」を終えて

全国学校安全教育研究会会長

東京都葛飾区立柴又小学校長

木間 東平

今年度も、新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。昨年度延期した「第45回全国・東京都学校安全教育研究大会」は、2月4日、本校、葛飾区立柴又小学校を会場に開催しました。当初は、全国の学校関係者への公開で大会を計画していましたが、年明けからのオミクロン株による感染拡大に伴い、ごく僅かな関係者のみの公開で開催しました。しかし、全国からの申込者、後援団体、安全教育関係者等には、当日撮影した大会の公開授業、研究発表、講演をYouTubeでの動画配信という形で公開しています。

さて、この第45回研究大会では、私も委員として参加した「中央教育審議会初等中等教育分科会学校安全部会」で協議した次年度（令和4年度）からの今後5年間における『第3次学校安全の推進に関する計画』に基づき、「実践的・実効的な安全教育の推進」「組織的な取組の一層の充実」「安全で安心な学校環境の整備」を柱に、公開授業、研究発表、講演を計画しました。全国の多くの学校関係者の皆様に、動画配信を通じて、第3次計画推進の一助になれば幸いです。動画配信は3月末まで公開しておりますので、動画配信視聴を希望される方は、本研究会ホームページでご確認ください。

児童・生徒の交通事故、学校での熱中症事故、校内への不審者侵入事件など、児童・生徒の安全を脅かす事例が毎年のように報告され、それぞれの学校において、その都度指導が行われています。本研究会はこれからも、研究主題「自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる幼児・児童・生徒の育成—危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために—」を踏まえ、児童・生徒に自らの危険予測能力、危険回避能力を育成するための指導の在り方を追求するとともに、セミナー、研究大会を通じて、次年度からの第3次計画の推進を進めていきます。



## コロナ禍を乗り越えた新たな学校安全教育の推進

東京都学校安全教育研究会会長

東京都葛飾区立花の木小学校長

伊藤 進

新型コロナウイルス感染症の拡大が未だに収束しない状況が続いています。コロナ禍によって世界中の日常が、そして学校生活が一変してしまいました。学校現場において「新しい生活様式」を意識しながら様々な対策を行ってきて、学校行事や地域行事も内容を変更してできることから活動を行っていることでしょうか。そんな中でも「生活安全」「交通安全」「災害安全」についてこれまで培ってきた安全教育をもとにして、コロナ禍を乗り越えた新たな学校安全教育が求められています。三密を避けること、手洗いの励行、マスク着用などのコロナウイルス対策を行いながら、各校で工夫して安全教育が進められています。避難訓練では、当初は全校児童全員が一堂に集まることができなかったものが、短時間で広い場所への避難を行っている学校も増えています。学校のような集団が集まる場面では大勢の人が短時間で整然と動くことがとても重要になります。コロナ禍であろうと避難訓練は必ず必要です。学校現場ではこれまでと同様に児童の安全を守るには必ず必要なことがあり、工夫しながらでも進めていくことが大切です。今後も感染症拡大の状況やワクチン・薬の開発状況によって対応が変わってくるのが予想されます。その時代ごとに安全教育において指導すべき内容も変わってくることは当然のことです。これからもそのときの状況によって柔軟に対応しながら、児童の安全を守るための最善の方法を考えていくことはいつの時代でも必要なことです。児童・生徒にとっては実は学校以外で活動している時間の方が長いので、交通安全、自然災害などについても改めて学校において指導を行って、いつでも、どこでも、どんな状況でも自分で考えて自分の安全を守れるような児童・生徒を育成していきたいものです。



## 第45回全国・東京都学校安全教育研究大会

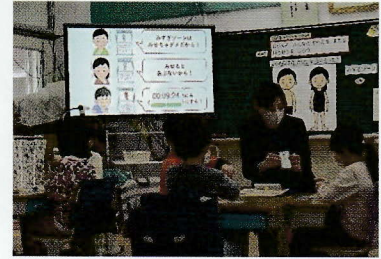
[令和4年2月4日(金) 会場：東京都葛飾区立柴又小学校]

全国学校安全教育研究会長・葛飾区立柴又小学校長 木間 東平

令和4年2月4日、東京都葛飾区立柴又小学校を会場に、第45回全国・東京都学校安全教育研究会を開催しました。大会主題『自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる幼児・児童・生徒の育成—危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために—』の下、公開授業、研究発表、講演を行いました。大会内容は、以下の通りです。

○公開授業では、「生活安全」「災害安全」「交通安全」の全領域にわたって授業を行いました。

- 第1学年「安全な行動を伝えよう」【生活安全】
  - 第2学年「安全に通学しよう～不審者から身を守る～」【生活安全】
  - 第3学年「自転車や歩行者の安全」【交通安全】
  - 第4学年「地震から身を守る行動を考えよう」【災害安全】
  - 第5学年「自然災害からくらしを守るために」【災害安全】
  - 第6学年「スマートフォンや携帯電話の使い方を考えよう」  
・「救急救命について学ぼう」【生活安全】
- さくら学級 生命の安全教育「自分も友達も守ろう」【生活安全】



○研究・実践発表

- ① 『学校安全Web』を活用した事故防止と安全教育  
独立行政法人 日本スポーツ振興センター  
学校安全部安全支援課長 田中 文人様
- ② 「自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる児童の育成  
～危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために～」 葛飾区立柴又小学校



○講評・講演

演題「子どもの安全と保護者」

学校安全教育研究所 代表 矢崎良明先生

○記念講演

演題『「生きる力」をはぐくむ安全教育の充実に向けて』

文部科学省 安全教育調査官 森本 晋也先生

大会の様子は、YouTubeにて限定公開しています。視聴を希望される方は、本研究会ホームページをご確認ください。

## 日本安全教育学会第22回東京大会

全国学校安全教育研究会が協力

日本安全教育学会常任理事・全国学校安全教育研究会顧問 矢崎 良明

日本安全教育学会第22回東京大会が令和3年10月16日・17日に開催されました。日本安全教育学会の理事長は本研究会特別顧問の戸田芳雄先生であり、今回の年次学会長は本研究会顧問矢崎良明が務めました。日本安全教育学会と全国学校安全教育研究会は安全教育の研究では密接な関係にあり、東京大会ということで、全国学校安全教育研究会が全面的に協力をいたしました。

国立オリンピック記念青少年総合センターで2日間に渡って開催されました。新型コロナウイルス感染対策として、会場での対面式と、Zoomによるリモートとのハイブリッドで行いました。

25の一般口演と4つの講演、2つのシンポジウムがあり、その内の1つは、全国学校安全教育研究会の役員(木間、吉羽、高汐)がシンポジストとなり、

「生きる力をはぐくむ学校での安全教育」  
～カリキュラムマネジメントと安全文化の創造から～  
をテーマで行いました。





## 「楽しく防災」について学び、「気がつけば防災」が日常に位置づく

福岡県新宮町立新宮東中学校長 折居 邦成

新宮町の防災活動・減災活動の拠点として、令和元年度に開校した本校は、防災教育を学校経営の柱としている。「学ぶことで助かる命がある」を合言葉に、生徒の日常に学校安全が位置づく「楽しく防災」「気がつけば防災」の具現化をめざし、以下のような取組を行っている。

### 1 新宮東中学校区学校安全連絡協議会

文部科学省学校安全総合支援事業委託（三年次：災害安全）を受け、校区小・中学校の取組進捗状況および方向性確認のため、年間4回の校区連絡協議会を開催した。福岡県教育庁義務教育課・福岡教育事務所、新宮町教育委員会とも連携・確認しながら取組を進めた。12月23日（木）には第3回連絡協議会を開催し、矢崎良明学校安全アドバイザー（学校安全教育研究所代表）、森本晋也安全教育調査官（文部科学省）、高汐康浩校長（東京都府中市立府中第二中学校）等にもオンラインで参加いただき、町内全小・中学校で指導助言を仰ぐことができた。

### 2 総合的な学習の時間

教科学習指導、特別活動とのカリキュラムマネジメントを前提に、各学年総合的な学習の時間で防災に係る学習を展開した。本年度は、「安全文化を発信する生徒の育成」を重点目標としている。1学年は、地域の防災リーダー育成をめざし、マイタイムラインを活用した家族防災会議を各家庭で実施した。

【写真→】



### 3 特別活動（学校行事）

中学校体育会で、直下型地震発生を想定した「防災リレー」を実施した。毛布担架や一連のAED操作等に競技性をもたせた。学校安全実践委員会（学校運営協議会）委員であり、元PTA会長でもあり、現3学年の保護者でもある新宮町消防団の団長様・分団長様にお越しいただき、講評をいただいた。

【写真→】



## 「自分の生命を大切にし、安全に行動ができる児童の育成」

千葉県松戸市立新松戸南小学校長 高谷 昌

### 1 研究主題と主題設定の理由

近年の数十年に一度といわれるような自然災害や、痛ましい登下校時の交通事故などから学校が中心となり、家庭や地域社会と連携を図りながら、子供たちを守っていかねばならない。そのための具体的な対策とその伝承は、喫緊の課題となっている。

学校安全の今日的な課題を踏まえ、学校、家庭、保護者の連携を柱として、「自分の生命を大切にし、安全に行動ができる児童の育成」を研究テーマとして、令和2年度より「交通安全」「生活安全」「災害安全（防災）」の研究を進めてきた。

### 2 地域の実態から

本校は、川に囲まれた住宅地に位置し、一戸建てと集合住宅が混在している。ハザードマップでは、内水氾濫の恐れがある地域にあり、江戸川が決壊した場合、浸水か2mから5mの洪水区域になっている。水防法により、地域の実情に応じた洪水・内水対策が求められている。

### 3 今年度の研究の取り組み

- (1) 各学年の実態に合わせて、目指す児童像や身に付けさせたい資質能力を設定し、各教科領域において授業研究を進めてきた。授業では、タブレットや映像資料の活用、動作化などをする中で、どうすれば安全な行動につながるかを考えさせた。
- (2) 日常の安全指導については、毎月1回KYT(危険予知トレーニング)を実施し、どこに危険があるか、どうした行動が危険かを考え、自らの危険回避能力を高めることにつなげた。
- (3) 地震、火事、不審者、竜巻、水害など自助を意識した避難訓練を実施した。訓練前に知識を映像資料で理解し、様々な形で実施することで、正しい避難の仕方を理解させてきた。
- (4) コロナ禍で保護者や地域との連携は思うように進まなかったところもあるが、6年生とともに避難所開設訓練を実施することができた。今後、日常的な連携を深めていきたい。



## 第46回全国・東京都学校安全教育研究大会

研究主題 自他の生命を尊重し、安全のための行動ができる児童の育成  
～危険を予測し、自ら回避できる能力を育成するために～

東京都国分寺市立第十小学校長 坂井 由利子

本校で取り組んでいる行動指針「想像する 行動する」ことや「命を守る」「人とつながる」「環境に関わる」を柱とした主体的・探究的な活動を生かし、「第3次学校安全の推進に関する計画」の具現化を図ります。多くの方にご参会いただき、ご指導賜りますようお願いいたします。

〔第46回全国学校安全教育研究大会・東京都学校安全教育研究大会〕

日時 令和5年2月10日(金)  
開催場所 東京都国分寺市立第十小学校

## 第16回「学校の安全・危機管理セミナー」

学校安全教育研究所 代表 矢崎 良明

毎年実施してきました「学校の安全・危機管理セミナー」は、新型コロナウイルス感染により2年間中止になりました。令和4年度は次のように実施を予定しています。

日時 令和4年7月29日(金) 10:00~16:00  
場所 国立オリンピック記念青少年総合センター  
内容 講演、シンポジウム、他

なお、日本安全教育学会が主催する「Tokyo Meeting 2022」と合同開催の予定です。  
詳しくは、学校安全教育研究所または全国学校安全教育研究会のホームページをご覧ください。

### <全国学校安全教育研究会 組織>

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	木間 東平	東京都葛飾区立柴又小学校	事務局	原野 隆	元 東京都学校安全教育研究会研究部長
副会長	渡部佳代子	東京都江東区立第五砂町幼稚園	会計	吉羽 優子	文京区立小日向台町幼稚園
副会長	角田 成隆	東京都足立区立足立小学校	監事	山元 敬子	東京都八王子市立片倉台小学校
副会長	伊藤 進	東京都葛飾区立花の木小学校	事務局顧問	矢崎 良明	学校安全教育研究所代表
事務局長	濱脇 哲也	東京都東大和市立第一小学校	事務局顧問	池田 實	元 全国学校安全教育研究会会長
事務局次長	津田 昌明	東京都葛飾区立道上小学校	事務局顧問	井口 信二	元 全国学校安全教育研究会会長
事務局	本多 亨	千葉県千葉市立千城台西中学校	事務局顧問	永山 満義	前 全国学校安全教育研究会会長
事務局	木次 勝義	(島根県) 学校安全教育研究所教授	事務局顧問	平松有理子	東京都世田谷区立桜丘小学校
事務局	長岡 佳孝	(山形県) 学校安全教育研究所教授	事務局顧問	桶田ゆかり	前 全国学校安全教育研究会副会長
事務局	津布久郁夫	(東京都) 前全国学校安全教育研究会事務局長	事務局顧問	鳥塚 恵子	前 全国学校安全教育研究会副会長
事務局	山田 誠一	元 東京都学校安全教育研究会副会長	事務局顧問	澤野 明夫	元 埼玉県安全教育研究協議会会長

### <東京都学校安全教育研究会 組織>

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	伊藤 進	葛飾区立花の木小学校	研究副部長	中澤 郁実	杉並区立浜田山小学校
副会長	渡部佳代子	江東区立第五砂町幼稚園	研究部員	渡邊 利枝	調布市立第五中学校
副会長	佐々木克二	世田谷区立東深沢小学校	研究部員	橋詰 貴	町田市立南成瀬中学校
副会長	山田 明	墨田区立業平小学校	研究部員	小川 雄也	調布市立神代中学校
事務局長	堀内 康博	葛飾区立上平井小学校	広報部長	坂井由利子	国分寺市立第十小学校
事務局次長	原田 英徳	葛飾区立西小菅小学校	広報副部長	安藤 力也	調布市立多摩川小学校
事務局員	西原 洋一	大田区立矢口東小学校	広報副部長	松本 麻巳	江東区立小名木川小学校
研究部長	高汐 康浩	府中市立府中第二中学校	会計部長	立石 晃子	荒川区立南千住第二幼稚園
研究副部長	原 洋子	江戸川区立松本小学校	会計副部長	吉羽 優子	文京区立小日向台町幼稚園
研究副部長	黒田 博之	世田谷区立明正小学校	監事	村田有美子	江東区立大島幼稚園